

授 業 目 名	疾患別理学療法I(中枢①)	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	水谷 貴佐	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>他の理学療法分野と中枢神経系理学療法の大きな違いは、ヒトという動物のなかで最も特徴的な器官である「脳」の障害を対象としているところにあります。現時点でわかっている知識を駆使して、状況を改善する方法を模索する能力が求められます。その基本的な概念および必要な関連知識について学んでいく。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.中枢神経系の基礎知識について学ぶ。 2.中枢神経障害によっておこる症状・病態・運動障害の特徴について学ぶ。 3.脳血管障害に対する評価について学ぶ。 4.高次脳機能障害について学ぶ。 		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識①		
第 2 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識②		
第 3 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識③		
第 4 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識④		
第 5 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識⑤		
第 6 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識⑥		
第 7 回	脳卒中の病態と治療(脳梗塞)		
第 8 回	脳卒中の病態と治療(脳出血)		
第 9 回	脳卒中の病態と治療(脳画像)		
第 10 回	脳卒中による障害①		
第 11 回	脳卒中による障害②		
第 12 回	脳卒中に対する評価①		
第 13 回	脳卒中に対する評価②		
第 14 回	脳卒中に対する評価③		
第 15 回	高次脳機能障害について		
評 価 方 法	期末試験 50%、小テスト 50%で評価します。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版(医学書院)</p> <p>15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学I(中山書店)</p> <p>〔参考図書〕 病気がみえる 脳・神経(MEDIC MEDIA)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	基礎的医学知識(解剖学・運動学・生理学・神経内科学についての知識等)をしっかりと復習しておいてください		
メ ッ セ ー ジ	授業では自発的に学んでいく、また疑問点を追求していく姿勢を大事にしてください。		